

日本防災士会奈良県支部第2回総会

と き 平成21年4月11日(土)、14時～

ところ 奈良市防災センター、2F研修室

日本防災士会奈良県支部第2回総会次第

- 1、 開会
- 2、 支部長あいさつ
- 3、 来賓あいさつ及び紹介
- 4、 議長選出
- 5、 議事
 - 第1号議案 平成20年度事業報告について
 - 第2号議案 平成20年度会計報告について
 - 第3号議案 平成20年度会計監査報告について
 - 第4号議案 支部規約の改正について
 - 第5号議案 平成21年度事業計画案について
 - 第6号議案 平成21年度予算案について
 - 第7号議案 平成21年度組織体制案について
 - 第8号議案 新役員の選出について
新役員あいさつと紹介
- 6、 その他
- 7、 記念撮影
- 8、 防災体験研修（奈良市防災センター内）
- 9、 閉会

第1号議案

日本防災士会奈良県支部事業報告（案）

一、奈良県支部及び本部関係

1、防災研修会「救助技術の習得」

と き 8月9日（土）、 9時30分～11時30分まで
と ころ 奈良市防災センター
参 加 者 木本支部長他35名
主な内容 講演「被災地での活動」
実技研修「ロープワーク」
講師 奈良市中央消防署 第一救助係長 西尾利幸氏

2、事務局会議

と き 8月24日（土）、18時30分～21時まで
と ころ 橿原市
参 加 者 4名（木本、植村、木村、古瀬）
主な内容 大阪支部との合同訓練について、
これからの支部活動について

3、大阪支部との合同防災実技講習

と き 10月5日
と ころ 大阪市消防学校
参 加 者 木本支部長他21名
主な内容 消化訓練、暗闇歩行訓練、非常時脱出訓練など、大阪消防
学校で防災研修を大阪支部と合同で参加しました。

4、日本防災士会全国支部長会議

と き 10月25日
と ころ 東京都永田町「TBRビル」

参加者 木本支部長、植村事務局長が参加。

全国支部長会議での主な意見

- 会議参加費は、全額負担とされたい（奈良、福岡、大阪、各東京都内他多数）
- 防止士会の法人化の意味は？（奈良他）
- 法人化を急いでほしい。そうでないと行政に相手にしてもらえない（東京都内各区支部、神奈川県内支部他）
- 研修会、会議は東京だけで開催しないで全国で開催しては？
- 組織拡大のために、各資格者の名簿を公表してほしい。（希望支部多数）

5、支部役員会

と き 11月11日（火）、18時30分～21時

と ころ 橿原市

参加者 6名（木本、中田、中川、木村、大和、植村）

協議事項

- ① 奈良県社会福祉会「地域フォーラム2009 in 奈良『大地震にそなえる』の後援依頼の扱いについて
- ② 今後の支部活動について
 - 支部広報について
 - 支部研修会について
 - 支部員への連絡体制の整備

6、奈良県支部広報部会設立の打ち合わせ会議

と き 11月25日、18時30分～21時

と ころ 橿原市

参加者 5名（木本、木村、中田、中川、植村）

主な内容 支部広報紙の発刊及び広報部会の設置について意見交換

7、奈良県表敬訪問

と き 12月18日(木)、10時～

と ころ 奈良県庁内、安全安心まちづくり推進課

参 加 者 木本支部長、中田・木村副支部長、植村事務局長、中川幹事
が参加。

主な内容 防災士会設立の表敬訪問及び奈良県への協力依頼

8、支部役員会

と き 1月15日(木)、19時～21時

と ころ 大阪市内

参 加 者 11名(木本、中田、木村、植村、中川、大和、古瀬、西川、
佐々木、勝川、御門)

協議事項

- ① 広報紙の発行について
- ② 広報部会の立ち上げについて
- ③ 第二回支部総会について
- ④ 総会後の研修について
- ⑤ 総会後の懇親会について
- ⑥ 支部連絡網について

9、事務局会議

と き 2月25日(水)、18時30分～21時まで

と ころ 橿原市

参 加 者 6名(木村、植村、平井、古瀬、佐々木、勝川)

主な内容 第2回総会の事務協議及び広報紙発刊について

10、支部役員会

と き 3月 1日(日)、18時30分～21時まで

と ころ 奈良市

参 加 者 10名(木村、植村、平井、古瀬、中川、大和、小角、佐々
木、勝川)

主な内容 第2回総会の事務協議及び広報紙発刊について

二、防災関係研修会

1、奈良市防災センター主催「応急手当普及員講習会」

と き 10月21・22・23日

ところ 奈良市防災センター

参加者 中川幹事他7名参加

2、奈良県主催、防災講演会

と き 12月13日(土)、13時20分～16時

ところ 王寺町やわらぎ会館

参加者 木村副支部長他6名参加

3、奈良県主催自主防災セミナー

と き 1月10日(土)、14時～

ところ 奈良県社会福祉会館(橿原市)

参加者 木本支部長他5名参加

このセミナーでは、木本支部長が来賓で参加し、研修参加者へ向けて、防災士会への参加を呼びかけました。

また、奈良県支部の中村さん(奈良市)、大和さん(三郷町)が防災活動で県から表彰を受けました。

4、奈良県社会福祉協議会主催研修会「大地震に備える」

と き 1月17日(土)、14時～16時30分

ところ 奈良県社会福祉会館(橿原市)

参加者 木本支部長他6名参加

第2号議案

平成20年度日本防災士会奈良県支部会計報告

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

収入決算額	341,050
支出決算額	274,322
差引残額	66,728

単位:円

収入	科目	予算額	決算額	増減	備考
	繰越金		0	0	0
会費					
	会費	30,000	111,000	81,000	1,000円×111名
	入会金	60,000	150,000	90,000	2,000円×75名
その他収入					
	活動支援金	60,000	79,960	19,960	日本防災士会 支部設立助成金・支部長会議交通費
	研修参加費	20,000	0	▲20,000	
	貯金利子	0	90	90	
	合計	170,000	341,050	171,050	

単位:円

支出	科目	予算額	決算額	増減	備考
	事業費				
	研修会議事業費	100,000	9,955	▲90,045	各研修会議他
	交流事業費	20,000	38,720	18,720	交流事業他
	広報活動費	10,000	45,740	35,740	支部広報誌他
事務費					
	通信運搬費	20,000	57,850	37,850	切手代、各送料他
	需要費	20,000	122,057	101,157	事務消耗品他
	合計	170,000	274,322	103,422	

平成20年度収支決算について、上記のとおり報告いたします。

平成21年 4 月 8 日

日本防災士会奈良県支部

会計 古瀬 啓之 印



会計監査報告書

日本防災士会奈良県支部会計の収支について、関係帳簿に基づき監査した結果、適正と認められますのでここに報告します。

なお、支部の収入は会費のみになっているきびしい財政事情を踏まえて、今後より一層努力されることを申し添えます。

平成 21年 4月 8日

幹事（会計監査）

申 川 徹 
大 和 武 史 

第4号議案

日本防災士会奈良県支部規約

(名称)

第1条 本会は、日本防災士会奈良県支部（以下、支部という）と称し、事務所は奈良市朝日町2丁目395番地の10とする。

(目的)

第2条 本会は、「自助」「共助」の原則の下、会員のネットワークの構築と、防災士の活動と技術研鑽（けんさん）を支援することを目的とする。

(会員)

第3条 本会は、日本防災士会の地方支部であり、本会の目的に賛同する「NPO法人日本防災士機構」によって認定された「防災士」の資格を有する者。または、「防災士」の資格取得を目指す者であり本会会員の推薦を得た者をもって会員とする。但し、この場合支部長または役員会の承認を得るものとする。

(組織と機関)

第4条 本会に次の機関を置く。

1. 総会
2. 役員会
3. 専門部会
4. 組織部会
5. 事務局

第5条 定期総会は、役員会の決定にもとづき支部長が招集するものとし、年1回開催する。臨時総会は、役員会が必要と認めたとき、または、会員の3分1以上から請求があった場合に開催する。

第6条 総会は、本会の会員、支部役員をもって構成し、会員総数の過半数（委任状含む）の出席をもって成立する。また、総会は、役員を選出、予算、事業計画及ぶ事業報告の承認、その他重要な事項を決定する。

第7条 総会の議決は、出席者の過半数の賛否により決定する。なお、賛否同数の場合は議長に一任する。

第8条 役員会は、必要に応じて支部長が招集することとし、その構成と役員選考は別途定めるものとする。

第9条 総会の議長は、会員の中から選出し総会出席者の承認を得るものとするが、議長事故あ時、または総会出席者の承認を得られない場合は支部長がこの任にあたるものとする。

第10条 専門部会は、支部活動を効率的にすすめるために設置するものであって、専門部会の部会長が必要に応じて招集するものとするが、その構成は支部長または役員会の承認を得るものとし、必要に応じて支部総会で活動報告を行うものとする。組織部会は、支部活動を

円滑に行うために設定するものであり、支部に各ブロックを設置できるものとする。また、必要に応じてブロック会議を招集するものとするが、その構成は、支部長または役員会の承認を得るものとする。事務局は、支部活動の事務を円滑にするために設置するものであり、支部長の指示に応じて事務局長が招集するが、その構成は支部長または役員会の承認を得ることとする。

(役員)

第11条 支部に次の役員を置く。

1. 支部長 1名
2. 副支部長 若干名
3. 事務局長 1名
4. 会計 1名
5. 事務局次長 若干名
6. 幹事 若干名
7. 会計監査 若干名
8. 顧問 若干名

第12条 支部長は、支部を代表し支部の諸活動を統括する。副支部長は、支部長を補佐し支部長事故ある時はこれを代理する。事務局長は、支部の事務を統括する。会計は、支部会計及び経理を行う。事務局次長は、事務局長を補佐する。幹事は、各専門部会の諸活動を統括する。会計監査は、支部会計の監査を行うものとする。なお、本会の運営に必要と認める時は顧問を置くことができるものとする。

第13条 役員任期は2年とし、再任は妨げない。

(事業)

第14条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 防災士としての活動と防災・減災技能研鑽に資する事業。
- (2) 会員相互の交流及び情報の提供に資する事業。
- (3) 防災士としてのスキルアップのための講演会及び研修会に資する事業
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業。

(会計)

第15条 本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入によってまかなうものとし、総会の承認を要するものとする。

第16条 本会の会費は、年額2,000円とするが、必要に応じて別途徴収することができる。また、会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

(附則)

この規約は、平成20年4月27日より施行する。

平成21年4月11日改正

平成21年度事業計画(案)

事業項目	事業推進内容	実施時期
地域における減災活動の推進事業	<p>地域・職場における減災活動に防災士として積極的に取り組み、自主防災会や各種団体での防災研修会に参加します。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災などの自然災害に備えた予防・減災活動を働きかけます。(自治会、老人会、婦人会など) ・ 耐震補強・AED設置、住宅用火災報知機設置を呼びかけます ・ 地域の自主防災会などへの会員の参加を促します。 	適時実施
交流事業	<p>防災士相互の交流を深め、他支部や関係機関との交流を広げます。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士相互の交流を深めるために、ネットワークづくり(連絡網)を開始します。 ・ 他支部との合同研修の開催をめざします。 ・ 各種団体との情報交換及び、交流を深めます。 ・ 各自治体の防災活動に参加します。 	適時実施
広報・情報提供事業	<p>支部広報紙をはじめ、各種防災関係の情報提供に努めます。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会報を年二回発行します。 ・ 支部のホームページの立ち上げをめざします。 ・ 関係団体との情報交換を進めます。 ・ テレビ・新聞などのマスコミへ積極的に働きかけます。 	適時実施
教育・研修事業	<p>会員相互のスキルアップのために研修会などを定期的で開催します。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支部主催の防災研修会を年2回開催します。 ・ 各種防災実技講習へ積極的に参加します。 ・ 防災施設見学会、先進地視察を計画します。 	適時実施
受託事業	<p>将来的には、自治体や各種団体から防災活動での事業委託をできるように働きかけます。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自治体での防災士会認知を広めるため、各地域の会員と自治体へ表敬訪問の取り組みを開始します。 ・ 防災士の認知度アップのため、会員の名刺に「防災士」の肩書を入れる取り組みを強めます 	適時実施
災害救援事業	<p>奈良県内及び国内において、災害が発生した場合に救援活動を行う。(状況に応じて救援依頼への対応及び自主的な実働支援ができるように、まず、救援活動ができる体制づくりを整備します。)</p>	災害発生時

第 6 号議案

平成 21 年度日本防災士会奈良県支部予算（案）

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

収入予算額	443,728
支出予算額	443,728
差引残額	0

単位：円

収入	科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
	繰越金	67,628	0	67,628	
会費					
会費	300,000	30,000	270,000	2000 円 × 150 名	
入会金	40,000	60,000	▲20,000	2000 円 × 20 名	
その他収入					
活動支援金	6,000	60,000	▲54,000		
研修参加費	30,000	20,000	10,000	2 回 × 30 名 × 500 円	
貯金利子	100	0			
合計	443,728	170,000	347,628		

単位：円

支出	科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
	事業費				
研修会議事業費	30,000	100,000	▲70,000	研修 2 回	
交流事業費	40,000	20,000	20,000	交流事業他	
広報活動費	150,000	10,000	140,000	広報誌年 2 回、HP 立上げ	
事務費					
通信運搬費	70,000	20,000	50,000	切手代、各送料他	
需要費	100,000	20,000	80,000	事務消耗品他	
予備費	53,728	0	53,728		
合計	443,728	170,000	343,728		

日本防災士会 奈良県支部組織図

